

2025.12.23 社会学 (田中重人)

第9講「社会構築主義」

1. 公式統計
2. 犯罪
3. 構築主義
4. 記号
5. 次回までの宿題

【公式統計とは】

Official statistics

(公的統計／政府統計／官庁統計)

官公庁の公表する統計

教科書 p. 85

※ 一部の独立行政法人等も含めることがある

【統計作成の各段階】

- 抽象的定義
- 操作的定義
- データ収集
- 集計・分析
- 公表

【日本の公式統計の種類】

- 基幹統計
- 特定一般統計調査
- その他の一般統計調査
- その他の統計（要届出）
- その他

【犯罪とは】

刑法などの法律に違反すること

教科書 p. 84

「われわれは、それを犯罪だから非難するのではなく、われわれがそれを非難するから犯罪なのである」

教科書 p. 75

→ 最終的には裁判によって確定する

【裁判の仕組み】

法廷での弁論と裁判官による判決

- 個別事例における事実認定
- 法律の解釈
- 個別事例への適用

＝参加者の議論によって結論が決まる

【構築主義】

Constructionism

人びとの認識や常識が、社会的な相互行為によってつくられ維持されているという考え方

坂本佳鶴恵 (2010)「パフォーマティビティ：バトラー」
日本社会学会『社会学事典』丸善 p. 222

【記号】

Sign

約束に従ってある表象によってそれとは別の物を指示するものをいう

ブリタニカ国際大百科事典（電子辞書版）「記号」の項

【次回までの宿題】

課題 10: 消費社会

教科書 192 ページ「その記号を用いた集団的なコミュニケーション」とはどのようなことを指すか。具体例を挙げて説明せよ。